2023年3月期　第１四半期決算説明会

2022年7月29日

株式会社エンプラス

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

目次

2023年3月期　経営方針

2023年3月期　第１四半期　決算説明
・連結損益実績
・決算総括

2023年3月期　連結業績見通し

各事業の動向と事業戦略

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　経営方針

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針　－事業ポートフォリオ（中期戦略）－

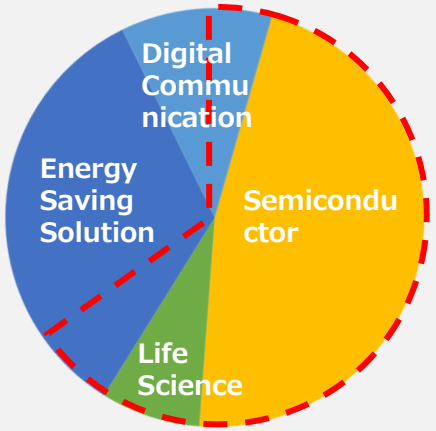
Essential領域※の事業に注力

Semiconductor	事業自体が Essential in 高成長領域
Life Science	
Energy Saving Solution	より Essential な領域への業態転換 (例) 環境車・オプトプラニクス
Digital Communication	

※Essential領域：人と地球のQOL （クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域

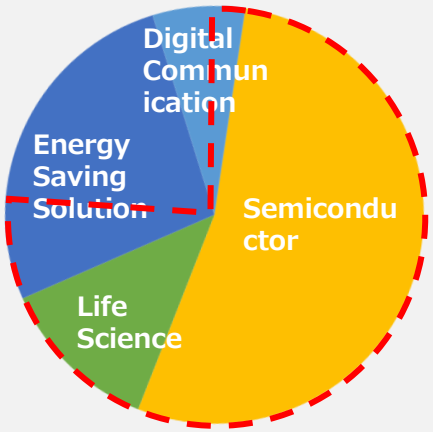
売上構成のイメージ

Essential比率 60%



2022年3月期

75%



2025年3月期

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針

経営基本方針

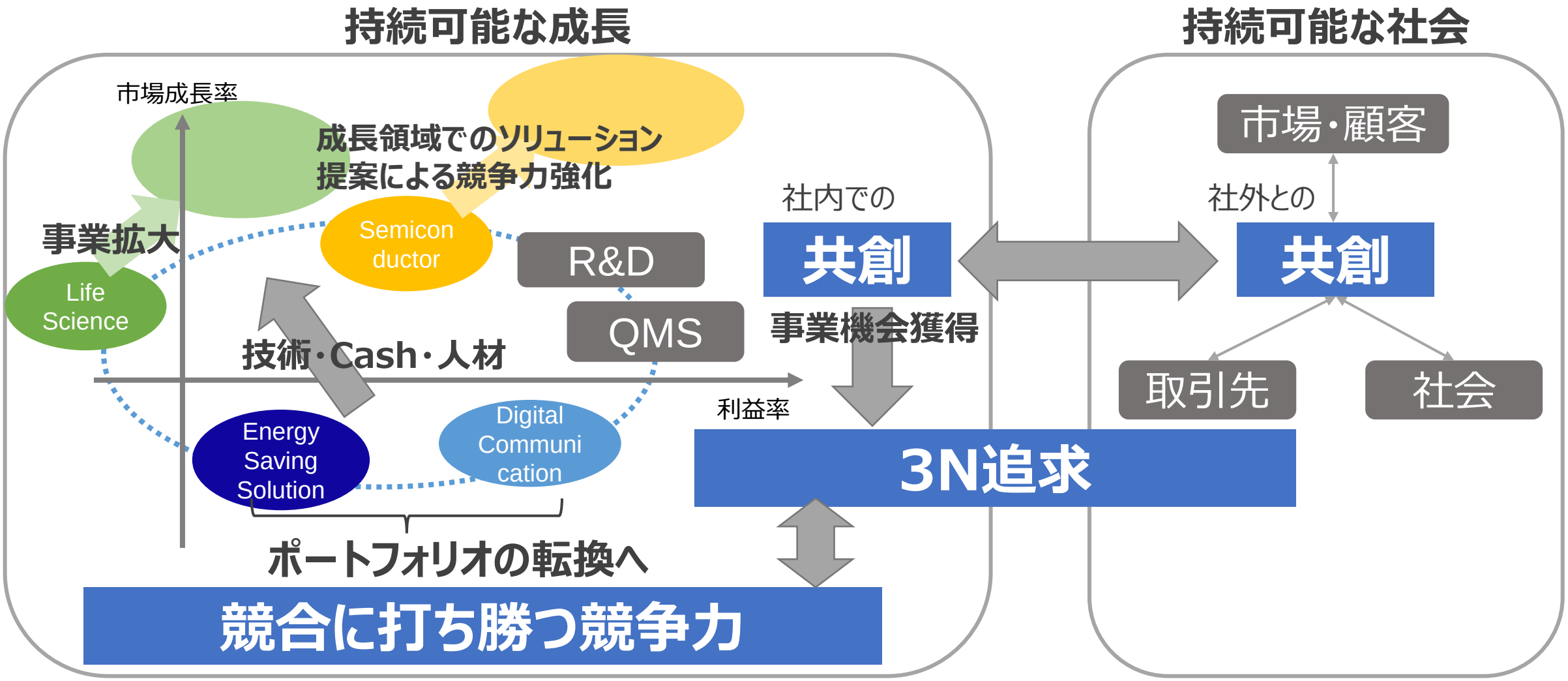
「競争力」と「共創力」による成長の実現

重点推進事項

- 競争力の強化
- 共創の推進
- 3N(新技術・新規顧客・新規用途)の追求

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針　－事業ポートフォリオ（重点推進事項）－



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第１四半期　決算説明

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第１四半期損益実績（連結）

（単位： 億円）

	2022/3期 1Q実績	2023/3期 1Q実績	増減	（参考）上期期初計画
売上高	82.3	101.1	22.9%	170.0
売上原価率	59.4%	53.7%	△5.7pt	58.8%
営業利益	8.7	19.5	124.5%	20.0
経常利益	7.6	21.3	178.5%	19.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4.5	15.0	231.8%	13.3
1株当り四半期純利益	51.49円	170.44円	118.95円	150.86円
期中平均レート（US$）	110.01円	129.03円	19.02円	（計画レート）115.00円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

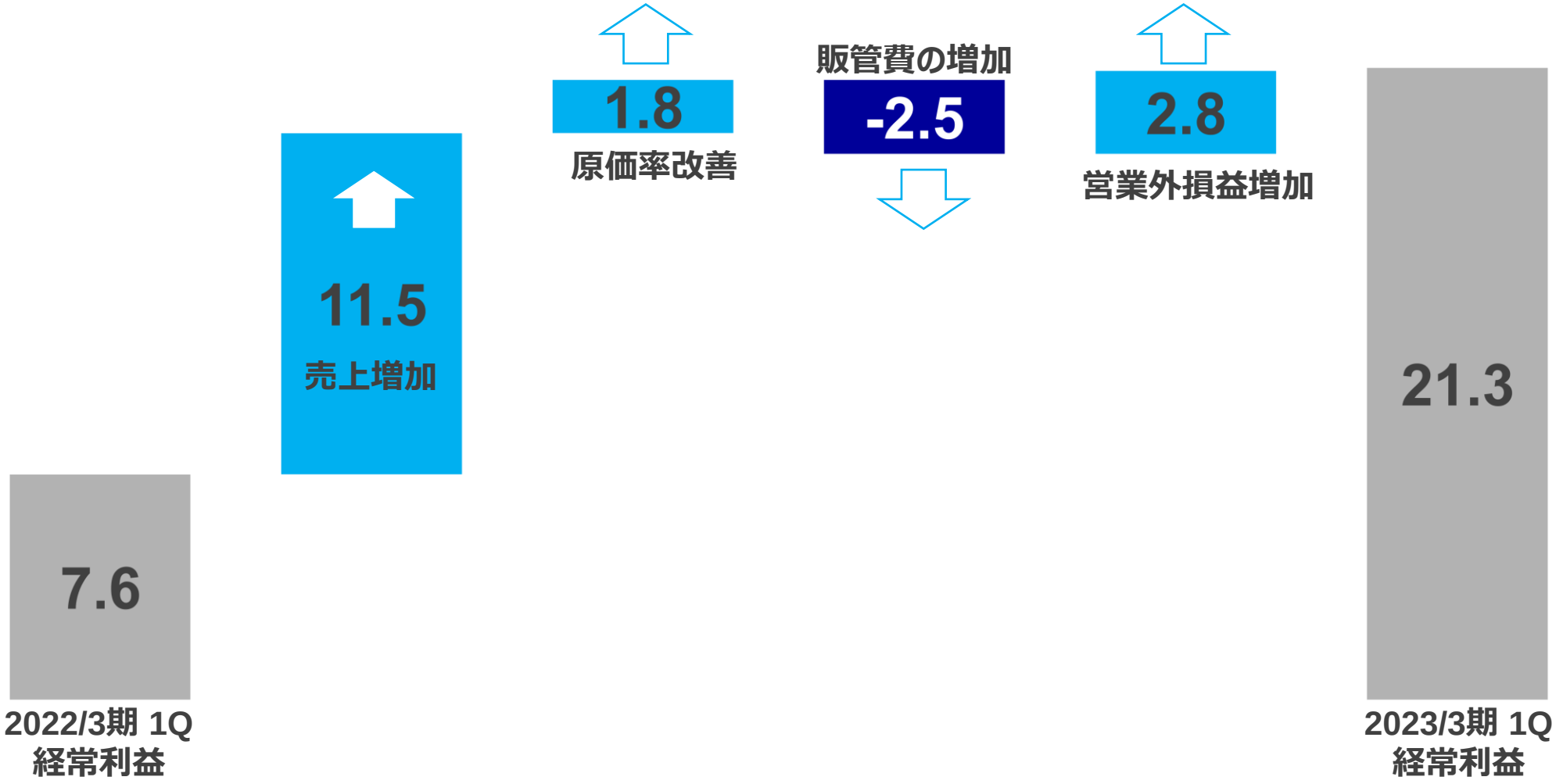
為替の影響

2023/3期 1Q期中平均レート（US$）	1ドル　129.03円
計画レート（US$）	1ドル　115.00円
為替感応度（US$） ※1円変動による影響額（年間）	売上高　約2億円 営業利益　約1.5億円
2023/3期 1Qの為替影響額 ※計画レートとの差異	売上高＋6.7億円、営業利益＋5.0億円 （為替影響を除く：売上高94.4億円、営業利益14.5億円）
2022/3期　海外売上高比率	約80%

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経常利益の増減分析＜前1Q比＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第１四半期セグメント別実績（連結）

（単位： 億円）

		2022/3期 1Q実績	2023/3期 1Q実績	増減
Semiconductor	売上高	36.5	56.6	55.0%
	売上原価率	56.9%	49.9%	△7.0pt
	営業利益	5.4	14.5	167.4%
Life Science	売上高	5.7	7.9	37.8%
	売上原価率	80.2%	54.5%	△25.7pt
	営業利益	△3.7	△1.0	-
Digital Communication	売上高	11.4	9.4	△17.8%
	売上原価率	40.0%	38.6%	△1.4pt
	営業利益	3.9	3.5	△8.7%
Energy Saving Solution	売上高	28.6	27.2	△4.9%
	売上原価率	66.2%	66.6%	0.4pt
	営業利益	3.1	2.5	△18.6%

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

（単位： 億円）

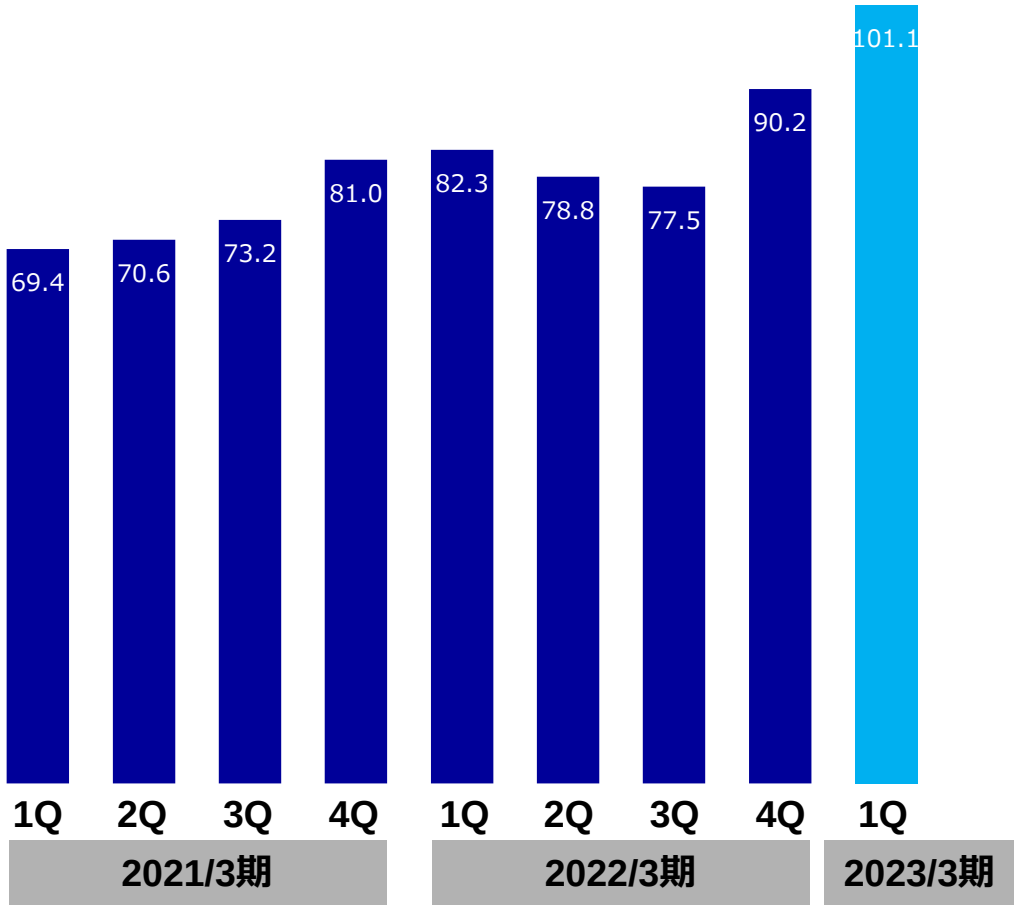
	2022/3期				2023/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	82.3	78.8	77.5	90.2	101.1
売上原価率	59.4%	59.7%	62.0%	56.8%	53.7%
営業利益	8.7	7.8	5.6	13.8	19.5
経常利益	7.6	7.6	5.3	13.8	21.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	4.5	4.5	5.2	10.8	15.0
1株当り四半期純利益	51.49円	51.96円	59.97円	123.61円	170.44円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

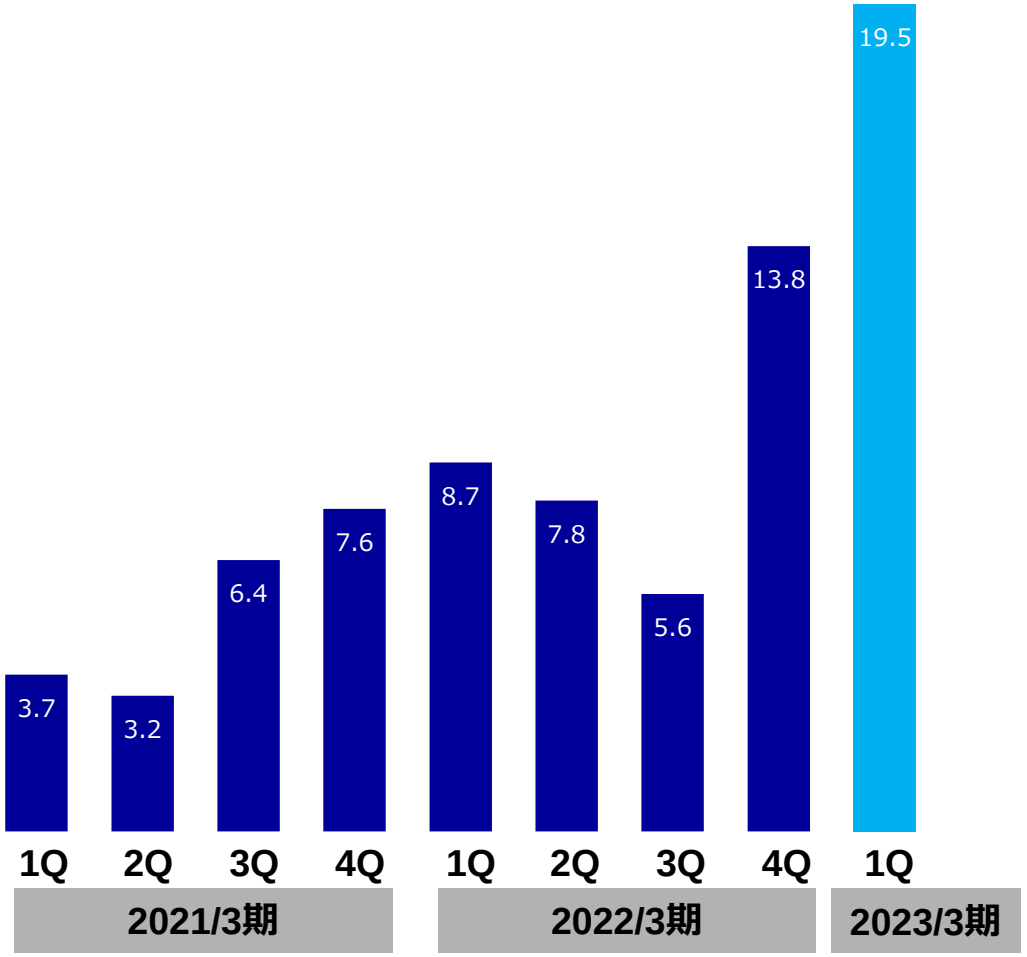
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位： 億円）

		2022/3期				2023/3期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
Semiconductor	売上高	36.5	36.7	37.2	48.6	56.6
	売上原価率	56.9%	59.2%	59.0%	52.1%	49.9%
	営業利益	5.4	4.5	4.6	11.3	14.5
Life Science	売上高	5.7	6.2	5.9	6.7	7.9
	売上原価率	80.2%	67.8%	63.4%	58.4%	54.5%
	営業利益	△3.7	△2.9	△2.9	△2.2	△1.0
Digital Communication	売上高	11.4	9.0	7.5	7.3	9.4
	売上原価率	40.0%	41.2%	46.0%	45.0%	38.6%
	営業利益	3.9	2.7	1.8	2.0	3.5
Energy Saving Solution	売上高	28.6	26.7	26.8	27.4	27.2
	売上原価率	66.2%	64.6%	70.3%	67.8%	66.6%
	営業利益	3.1	3.4	1.9	2.6	2.5

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

■第1四半期損益実績

全体　：半導体の需要が好調で、対前年同期比で増収増益
（売上高＋22.9%、営業利益＋124.5%、四半期純利益＋231.8%）

セグメント別　：Semiconductor事業は、過去最高の売上、メモリー用途を中心とした半導体需要の後退という懸念はあるものの今後も半導体需要は増加傾向の見込み

Life Science事業は、既存及び新規顧客の受注が増加、試作受注も堅調、今後も堅調な見込み

Digital Communication事業は、光通信関連の光学デバイスは、世界的な半導体不足の影響が改善。LED用拡散レンズは、購買意欲低下の影響を受け減収減益

Energy Saving Solution事業は、半導体不足や部品調達難、上海ロックダウンによる顧客の生産調整の影響を受け減収減益

■業績見通し：上方修正

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第1四半期　実施施策

ストックオプション（新株予約権）の発行

割当日：2022年7月19日

権利行使期間：
2025年6月28日～2027年6月27日

新株予約権の総数：2,942個(294,200株)

払込金額：1株当り737円

権利行使価額：1株当り3,353円

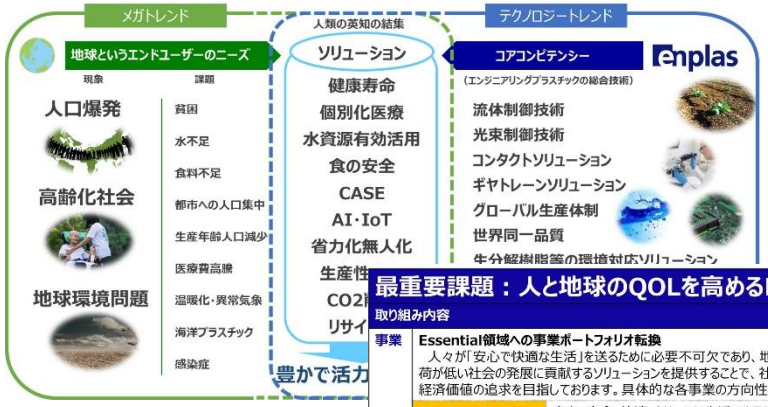
自己株式の消却

消却する株式の総数：3,500,000株
（消却前の発行済株式総数に対する割合 26.45%）

消却予定日：2022年8月31日

サステナビリティに関する取り組み

気候変動問題への取り組み(TCFD提言に基づく報告)を含むサステナビリティに関する取り組みを当社ホームページ上でご紹介しております。



最重要課題：人と地球のQOLを高めるEssential領域への貢献

取り組み内容			KPI	SDGs
事業	**Essential領域への事業ポートフォリオ転換** 人々が「安心で快適な生活」を送るために必要不可欠であり、地球環境への負荷が低い社会の発展に貢献するソリューションを提供することで、社会課題の解決と経済価値の追求を目指しております。具体的な各事業の方向性は下記になります。		Essential売上比率	
	Semiconductor	安心・安全・快適・クリーンに生活できるスマート社会実現に向けたソリューションの提供		
	Life Science	安心・安全・信頼される医療に貢献する製品開発・ソリューションの提供		
	Digital Communication	デジタル・インフラ業界の豊かな社会の発展に貢献するソリューションの提供		
	Energy Saving Solution	モビリティの電動化・軽量化・安全性に対応するソリューションの提供により、エネルギー効率の向上に貢献		
環境	**生産性向上と環境負荷の低減** 生産性を向上することにより、当社グループ内での電力消費、プラスチック廃棄による環境への負荷を削減してまいります。		GHG排出量原単位 (GHG排出量/売上高、Scope1・2) 樹脂材料廃棄率 (樹脂材料廃棄量/樹脂材料投入量)	
人材	**組織力向上** Essential領域における社会課題を解決するソリューション提供に挑戦できる人材を育成してまいります。		組織力向上への投資 (研修やエンゲージメント向上イベントに関する投資額)	

https://www.enplas.co.jp/company/activities/

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通し

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通しの前提

enplas

グローバル連結

- 第1四半期の実績および為替の影響を織り込み上方修正
- 事業計画レート（US$）：115.00円 → 130.00円

Semiconductor事業

- メモリー用途を中心とした半導体需要の後退という懸念はあるものの、期初想定通り当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は増加傾向が続く見通し

Life Science事業

- 期初想定通り遺伝子検査市場の拡大見通し

Digital Communication事業

- 期初想定を据え置き

Energy Saving Solution事業

- 中国以外にも波及した上海ロックダウンの影響を織り込み下方修正
- 期初想定では半導体の供給不足は徐々に解消する見通し → 解消の遅れ（下期以降）

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通し

（単位： 億円）

	2023/3期（4月時点）		2023/3期（修正）	
	上期	通期	上期	通期
売上高	170.0	350.0	190.0	375.0
売上原価率	58.8%	58.6%	53.7%	53.3%
営業利益	20.0	42.0	34.0	65.0
経常利益	19.0	40.0	35.0	65.0
親会社株主に帰属する当期純利益	13.3	28.0	25.0	46.0
1株当り当期純利益	150.86円	317.60円	283.57円	521.78円
配当金	25.00円	50.00円	25.00円	50.00円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　セグメント別売上見通し

（単位： 億円）

	2023/3期（4月時点）		2023/3期（修正）	
	上期	通期	上期	通期
Semiconductor	82.0	170.0	101.0	196.0
Life Science	14.0	30.0	16.0	32.0
Digital Communication	18.0	36.0	18.0	36.0
Energy Saving Solution	56.0	114.0	55.0	111.0

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　設備投資・減価償却・研究開発費（ご参考）

（単位： 億円）

	2022/3期 通期実績	2023/3期 1Q実績	2023/3期 通期
設備投資	17.4	2.6	30.0
減価償却	23.1	5.5	24.0
研究開発	6.6	2.8	12.0

※減価償却費は、2022年4月28日の見通しから変更しておりません。

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

各事業の動向と事業戦略

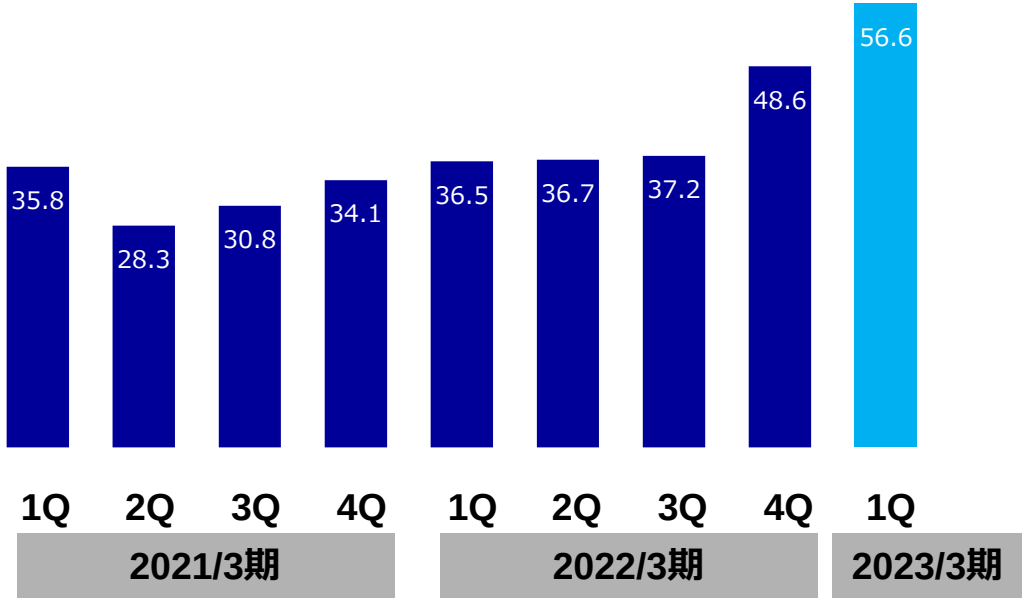
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Semiconductor事業

環境	■ サーバー、パソコン、自動車、モバイル、アナログの各用途の需要が高水準を維持 ■ メモリー用途を中心とした半導体需要の後退という懸念はあるものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は今後も増加傾向
事業戦略	■ 競争力の強化 ■ モノづくり体制の強化（共創の推進） ■ 新ソリューション開発の推進

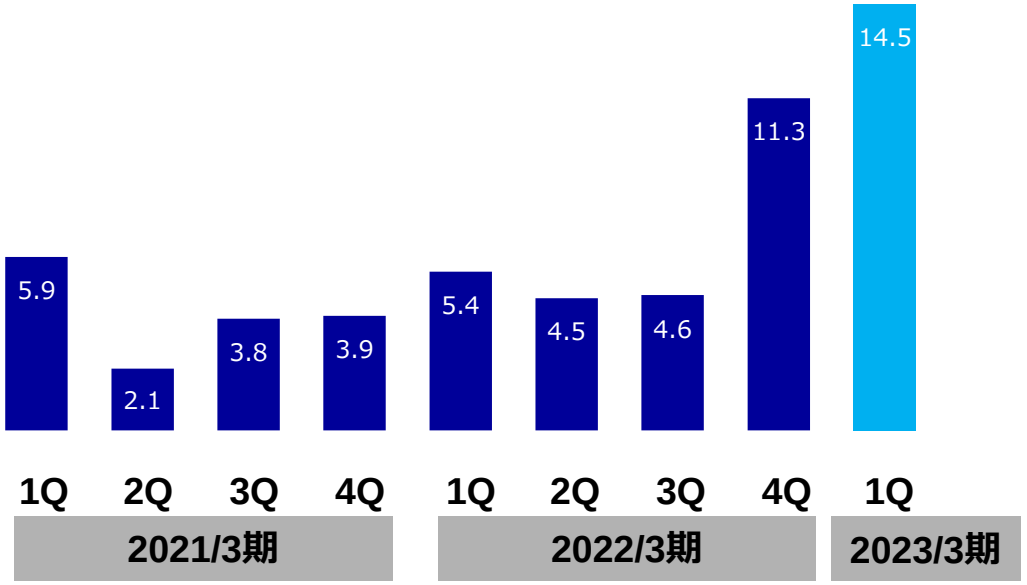
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



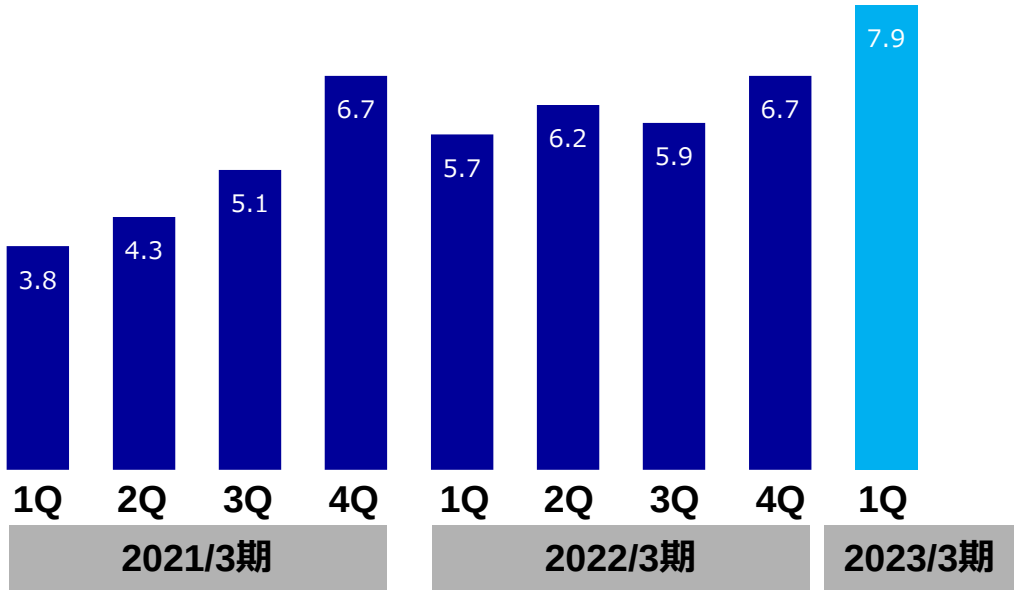
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Life Science事業

環境	■ 人々の健康意識の高まりによる遺伝子検査市場の成長期待 ■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨床現場即時検査やホームユースの臨床検査デバイスなどの需要の高まり
事業戦略	■ 遺伝子検査普及への貢献 ■ QOL向上への貢献

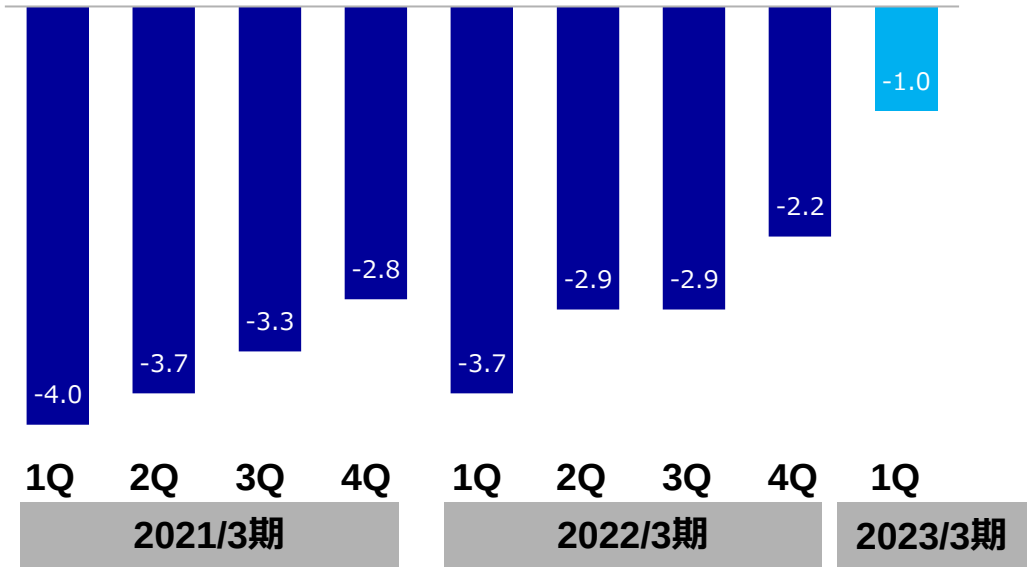
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



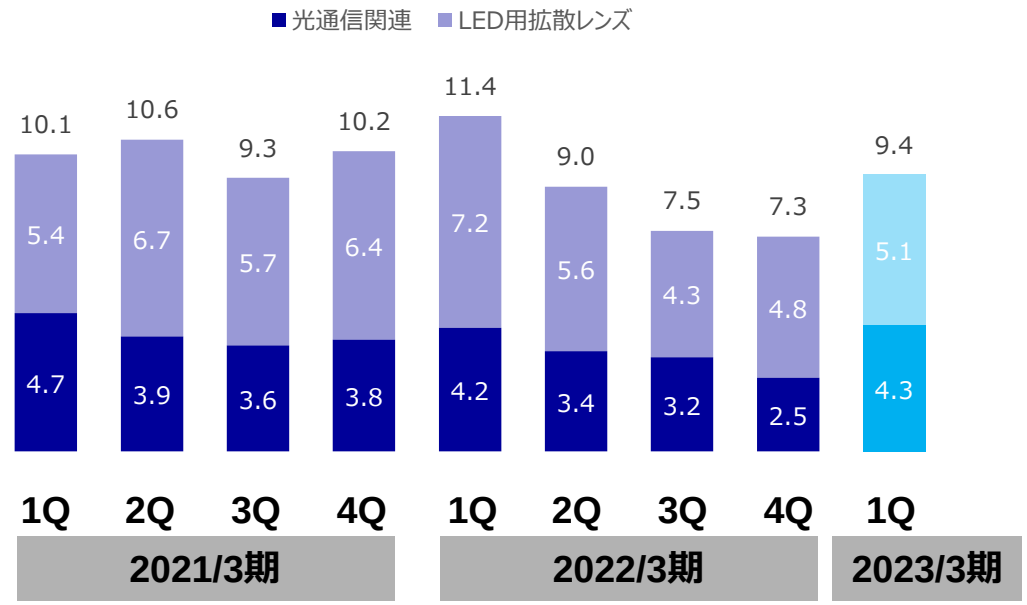
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Digital Communication事業

環境	■ 光通信関連は、データトラフィック量の増加に伴い、データセンター需要は拡大基調 ■ テレビ市場は巣ごもり需要の一巡、ウクライナ情勢の悪化に伴う購買意欲低下の影響で減少
事業戦略	■ 光通信関連はハイエンド領域での新製品拡大とデータセンター以外への事業領域拡大 ■ LED用拡散レンズは既存領域の収益性確保と、新ソリューションの開発

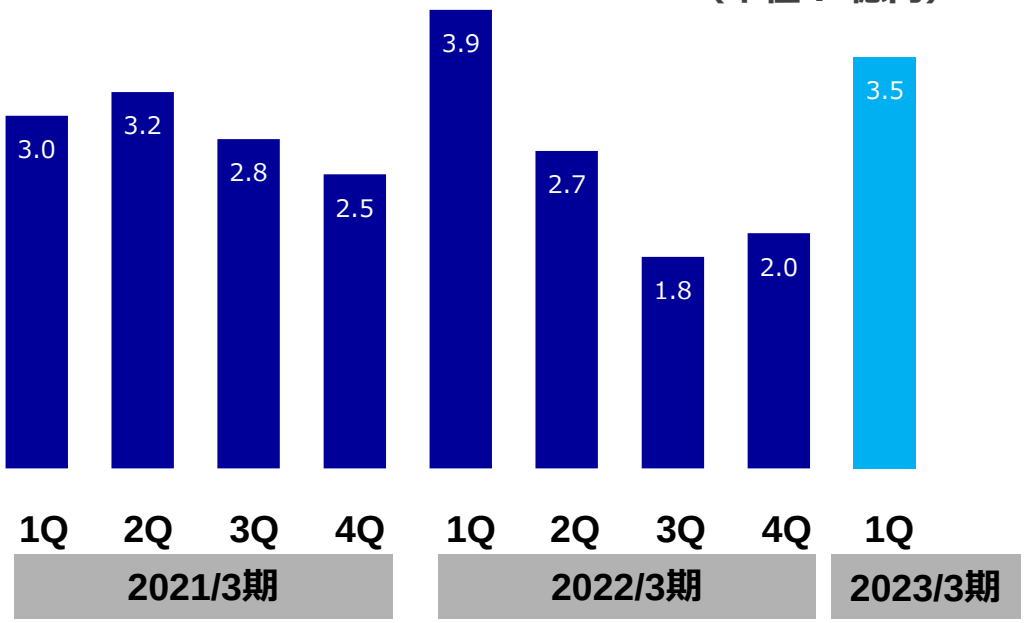
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



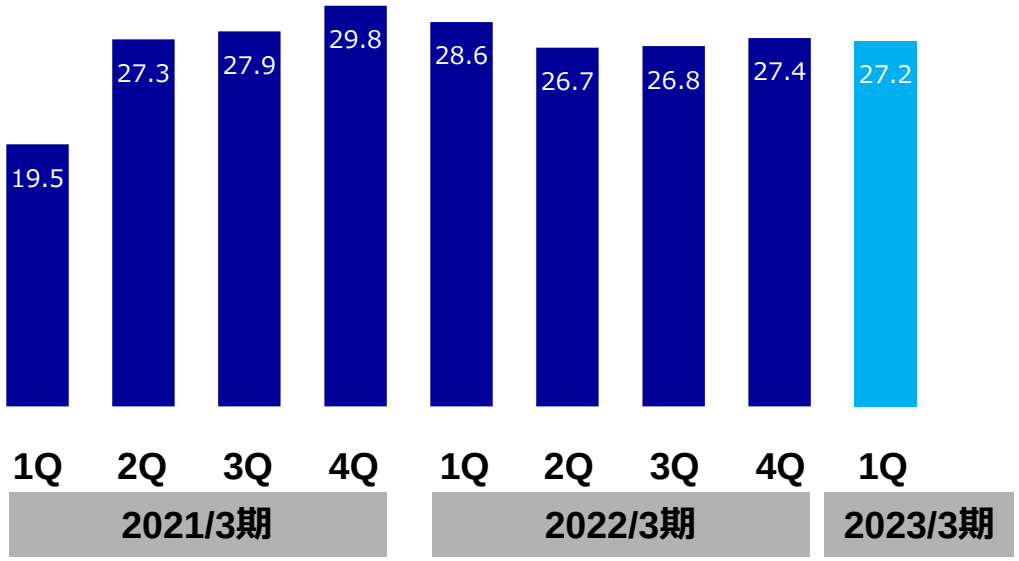
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Energy Saving Solution事業

環境	■ 自動車市場は経済活動の再開やEV化への流れが加速し、需要は拡大傾向 ■ 自動車関連とOA関連は、世界的な半導体不足や部品の調達難による顧客の生産調整が継続
事業戦略	■ 持続可能な成長に向けた業態転換 ■ ギヤソリューションビジネスでの成長

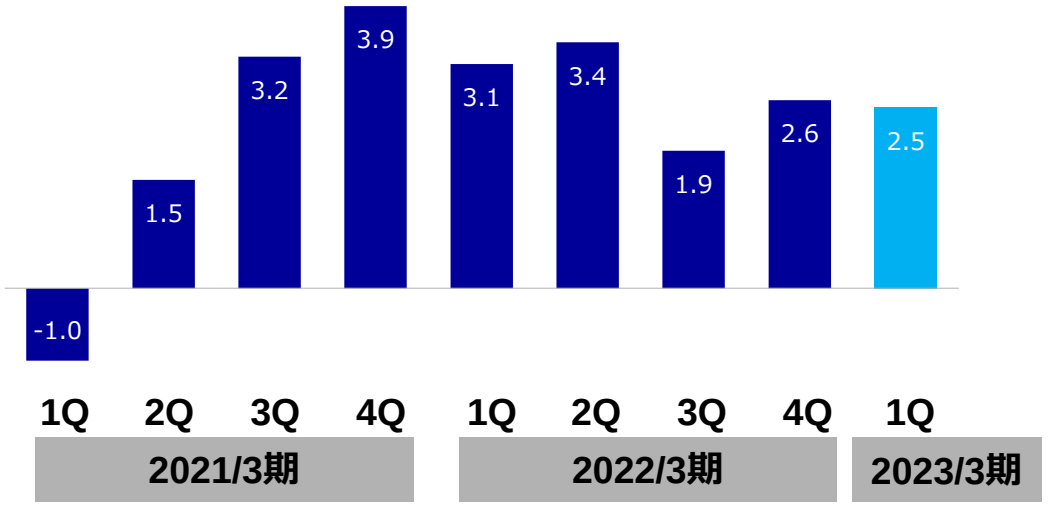
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

株式会社エンプラス　決算説明会

https://www.enplas.co.jp/

（東証プライム　6961）

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved